

# ユズリハ だより

ホームページ <http://www.t-kougaiakanjakai.jp/> 第10号

2009.1.15 ( 10 )  
東京公害患者と家族の会  
文京区小石川5-33-7マツモトビル2F  
TEL03-5802-2366 FAX03-5802-2377  
ぜん息110番 03-5840-8446  
メール: air-tokyo@herb.ocn.ne.jp

## 明けましておめでとうございます

患者会員のみなさま、新年おめでとうございます。昨年は、新たな医療費助成制度がスタートしましたが、多くの会員のみなさまは、いざいざの認定を受けておられることになりました。既会員には「公害健康被害補償法」(1988年新規認定打ち切り)の認定を受けている方が多く、既会員の一部と新規会員のみなさまは「都条例」の認定を受けられることとなりました。

しかし会員の中には、肺気腫・慢性気管支炎など、条例の対象から外され未だに未救済のままの患者もいます。みな同じように救われるように、ひきつづき救済運動をとり組んでいかなければなりません。

ところでたくさんの方にご入会いただき、会員数が昨年末で1000名を超えました。これほど大規模な患者会に成長できましたのも、会員のみなさまや、弁護士・支援のみなさまの努力の賜です。これからは患者会の活動内容を充実させ、少しでもみなさまの要望に応えるとともに、「患者会に入会して良かった!」と思っただけのようにめざします。(東京公害患者と家族の会幹事一同)

## 投稿コーナー

を設けました

ハガキ・FAXなどで、俳句・川柳・詩などをお寄せください。会員のみなさまの力作を、お待ちしております。

### 俳句

新年や ひと組だけの客布団 多栄子

鍋底の見えて四日の煮かき 多栄子

## 湯立坂だより 其の八-- 雀 --

湯立坂を下りきったところの氷川通り東窪町交差点を右に曲がるとすぐのところに、東京公害患者と家族の会本部事務所があります。この交差点を左に曲がり、大塚方面に向かって少し歩くと「雀のお宿」(?)があるのです。通りかかるといつでも(と思うのですが)、街路樹の一本の銀杏の木がチュンチュクチュンチュクと賑やかなのです。道路をはさんで反対側の路地を入ると松井健吉さん(第一次原告)宅があるので、ユズリハだより発送作業で松井さんが見えた折りに「雀のお宿」のことを聞いてみました。お宿の直ぐ傍にすんでいるおばあちゃんが餌をあげているのだそうです。以前はハトに餌をやっていたのだそうですが、近所の苦情もあり雀をかわいがるようになったとか。「そういえば・・・」と思いました。先日のことでした。郵便局に行くため前を通りかかったとき、ごんまりとした家(元お店だったのでしょうか)の前に何十羽と雀が歩道に群がっていました。近づくとも一斉にお宿に飛び移り、通り過ぎるとまた家の前の歩道に集団移動して頭を家に向けチュンチュクしているのです。家をのぞいてみたら、老婆が背を見せて前かがみに何やら片づけ仕事をしているようでした。もしかしたら餌の時間だったのかもしれませんが。一途な雀たちの集団行動に見事さを感じました。いつかこの「おばあさん」が雀のお宿に招かれて歓待され、おみやげに宝物の入った葛籠をもらって帰るかもしれません。楽しい懐かしい昔話を思い起こします。どこにでもいる雀は鮮やかな羽毛でもなく茶褐色で気にならない存在ですが、ひよんとき眼を向けると馴染みのかわいい姿をみせてくれます。そして、したたかに生き抜いている姿もみせてくれるのです。瓦屋根の隙間に、軒下の穴ぼこに、公園歩道橋の手すりの裏側になどなど巣をつくり子育てをしています。この雀たちの群がるお宿を見て一昨年の国会前座り込み行動を行った時に出会った感動の雀を思い起こしました。(以下次号に) (K)



写真は西順司会長を挟んで右が清水鳩子さんを、左が鶴見祐策弁護士を撮りました。

## 今年も、仲間をふやし力を寄せ合おう

東京あおぞら連絡会・理事長 清水鳩子

東京公害患者と家族の会の皆様、お障りなく新年をお迎えになられましたか。皆様の大きな運動の成果によって新たな医療費助成制度のスタート、PM2.5の環境基準の審議開始、新会員の募集など、和解内容に沿ったさまざまな前進が見られました。また、多くの環境団体とのネットワークによって、連帯も確かなものになってまいりました。ご苦労様でした。「泣き寝入りはしたくない」を合い言葉に、今年も仲間を増やし、力を寄せ合い東京の大気汚染をなくし、本当の青空ときれいな空気を取り戻す運動に取り組んで参りましょう。昨年4月、新組織になったのをきっかけに「東京あおぞら連絡会」の理事長をお引き受けし、患者会の皆様の活動にふれ、実に多くのことを学ぶことができました。今年も残された課題解決に向け、一歩一歩、前進してまいりましょう。

## 公健法・新都救済制度を守り、仲間ふやしの運動で今年もがんばろう!

東京公害患者と家族の会会長 西順司

あけましておめでとうございます。世界的金融危機、深刻な不況を理由に、大企業は多額な内部留保(溜め込んだお金)を維持しながら、労働者の首を切っています。また、このことを理由に、「これ以上財源は出せない」と、公健法を廃止し、新都救済制度の打ち切りが出てくる可能性が懸念されます。私たちは、このような状況のなかで、昨年は患者会会員拡大運動で400名を超える仲間をふやし大きく前進しました。新都救済制度認定申請運動でも全都で28000人を超える申請に至っています。和解条項の約束事であるPM2.5環境基準設定を履行させるたたかいも大きく前進しました。この闘いは、ぜん息発症の原因である自動車排ガス規制につながるたたかいですが予断を許しません。欧米並みの厳しい基準値を設定するかどうかなのです。値が問題なのです。今年も、認定申請・仲間ふやし・公害防止対策の三課題は正念場となります。情勢の厳しさはありますが、前進できる可能性も大きいのです。今年も力をあわせてがんばりましょう。

## 患者会・原告団・合同総会

日時・三月二十二日(日) 午後二時  
会場・「コア・いけぶくろ」4階  
患者会活動の報告・弁護士報告・あおぞら連絡会報告・他団体の報告など。これからの活動について提案・討議方針決議・新役員承認など、詳しくは次号で掲載させていただきます。ところで合同総会という意味について説明しますね。裁判が終わっても、和解条項を被告に履行させるために、原告団という名前は残っています。私たちは、二つの名前を持つ患者会なのです。

## TAKIO SPIRIT 2009 伊藤多喜雄コンサート

ご案内  
日時: 2009年2月1日(日) 15:00開演  
会場: テアラこうとう大ホール(江東区住吉2-28-3 半蔵門線「住吉」A4出口5分(旧「江東公会堂」))  
料金: 5,000円? 4,500円(1割引)  
申込み: 喘息患者と家族の会 5802-2170 伊藤迄  
曲目: TAKIOのソーラン節・津軽じょんがら節・依積み歌・木曾節・最上川舟歌・金比羅さん・他



# いよいよ公害対策実現にむけて走りだします

梅島陸橋と梅島測定所  
環七と日光街道の植栽と  
自転車専用道路の設置  
千住宮元町交差対策  
日暮里・舎人新線の調査等



日光街道六月地区の歩道幅を調べる

〇七年八月東京大気汚染公害裁判の和解成立にあたり勝ち取った、和解条項の一つに公害対策があります。

これまで医療費助成の申請と患者会入会のすすめ・PM2.5の環境基準設定を実施させる運動に力をいれて活動して来ましたが、和解条項の柱のひとつである公害対策は、永い裁判の末に私たち患者の思いが行き着く「少しでも被害を減らしたい」という思いを認められたものですから、これからの大事な課題です。

ところで、みなさんは公害対策って、何?と思いませんか。私たちがめざすのは、自分たちが暮らす町を「きれいで、安心して吸える空気」にすることです。

しかし広範な東京中を一気に変えることはできません。そこで激甚交差点といわれる箇所を手始めに、整備させることから始めようと、現地調査を実施しました。今回は足立支部の取り組みを報告します。

## 裁判でかちとった成果を前進させ加速させよう

東京大気裁判弁護団長

鶴見祐策

明けましておめでとうございます。新しい仲間を迎えて意気たかく新年を迎えられたことと思います。

今年は、裁判でかちとった成果を確実に前進させ加速させる年でもありません。新たな医療費助成制度の宣伝と拡充の運動、PM2.5の環境基準の



弁護団のみなさま(裁判所の前で)

高いレベルで設定させる運動など相変わらず私たちが取り組むべき闘いは実に多彩ですが、地域の環境改善と街づくりをめざす活動を軌道に乗せることも当面の重要課題だと思えます。すでに地域によって具体化が始められています。その運動の広がりの中でまた新しい仲間をふやす展望も大きく拓けてくるに違いありません。

私たち弁護団は、今年も皆さんとの団結をいっそう固めながら共同の目標に向かって奮闘する決意です。体調にも気をつけながら、一緒にがんばりましょう。よろしくお願います。

「道路環境調査」を実施

患者会・足立支部と足立あおぞら連絡会の共同で12月23日に「足立区内の道路環境調査」を行いました。

この調査は、一昨年の大気裁判の和解条項に基づき、国・都などと「道路連絡会」で議論されている区内の道路環境や公害対策がどの程度改善しさらにどこに改善対策が必要なのかを調査することを目的として行いました。

また、この調査でまちづくり運動の課題や身近な環境問題を整理し、国や都などに要求し制作を提起する取り組みとして行いました。

# 支部活動予定：支部活動報告

### 品川支部紹介

品川区の岩崎和子さんに、ご自身の活動状況、患者会への希望をうかがいました。

岩崎さんの住んでおられる、八潮パークタウンへは26年前に転居されたそうです。

当時八潮パークタウンは人気があり、補欠で当選入居しました。住宅公社・都営アパート等で6,500世帯あります。

団地の環境は非常に良いのですが、大気の状態は海が近いのにもかかわらず、きれいとは言えません。団地のバス停そばで、NO2の測定値が0.055PPMあり(環境基準は0.041~0.060PPM)の範囲内まで許容されますが、理想値の0.020PPM以下からすると汚れているといえます。

東京都がディーゼル車の規制を実施して3年ほど大気汚染が改善されたと感じていましたが、最近また汚れがひどくなったと思います。網戸はすぐ黒くなるし、特に団地西側に隣接する高速湾岸線の大気汚染はひどいと感じています。また八潮一丁目にある都大井清掃工場の排煙の影響もあるかも知れませんが、NO2の測定では八潮団地は品川区でワースト1です。

裁判では6次原告になりました。個人の意志を尊重している患者会は立派です。続けていきたいものです。みなさんの前での発言は苦手ですが、頑張ってやっていきたいと思っています。

### 1月支部活動予定

- 16 (金) 足立支部会議 14:00~
- 17 (土) 北支部学習と新年のつどい 13:30~
- 21 (木) 西新井大師前宣伝(足立) 11:00~  
中野杉並世話人会 13:00~
- 24 (土) 板橋新春交流会 14:00~
- 28 (水) 板橋支部新春交流会 14:00~
- 29 (木) 太田新年会 13:00~

### 2月支部活動予定

- 5 (木) 新宿支部江戸川橋・新年会 12:30~
- 7 (土) 江戸川支部(準) 歓迎会 13:30~
- 8 (日) 品川八潮団地訪問行動
- 14 (土) 板橋支部総会 14:00~
- 17 (火) 三多摩支部新春交流会 13:00~
- 18 (水) 江東墨田支部役員会 18:30~
- 20 (金) 足立支部役員会 14:00~
- 26 (木) 新宿支部(おおくほ戸山)新春のつどい

### みんなで歌おう会

## あおぞら(第1回)

患者会とあおぞら  
連絡会の仲間  
一緒に歌おう

日時 1月22日(木)  
午後 14:00~16:00  
場所 コトブキビル 6F  
電話 (3953-0361) 福島  
豊島区目白3-13-1

## 「道路環境調査」を実施

「足立現地調査」で環七の交通量の多さや、街路樹が少ないことがよくわかった。緑化や自転車道などの改善対策の意味がよく理解できた。

環七の近くに転居した後、ぜん息の状態が悪化している初山彰一さん(西新井)も、患者会を代表して説明役になりました。

### 参加者の声

日光街道と環状七号線が交差する梅島陸橋(右)

日光街道にて(右)



宮元町交差点で交通量を調査(右)



日光街道と環状七号線が交差する梅島陸橋(右)

# 東京都外でもぜん息患者が救済を待っています

『千葉あおぞら連絡会』準備会が『つどい』を開催

千葉の大気汚染を考え、被害者救済を求める「千葉あおぞら連絡会」準備会が「つどい」を開催しますので是非ご参加ください。

千葉県でもぜん息患者が増え続けており、東京と同じように「医療費助成制度」をつくってほしいと期待が広がっています。千葉県にもかつて「公害被害健康補償法」の指定地域があり、公害患者会が存続しており、1992年には川鉄公害訴訟で患者会が勝利和解を勝ち取っています。その歴史もふまえて、千葉県でぜん息患者の医療費の無料化と、安心して吸えるきれいな空気を取り戻す運動をすすめるため、「千葉あおぞら連絡会」正式発足に向けた準備がすすまられています。

「千葉のつどい」  
2月21日(土)午後2時~  
千葉土建本部会議室  
(JR千葉駅からバス)

### 主なプログラム

学習・基調講演「千葉の大気汚染の実態と救済について」 特別報告「千葉川鉄公害訴訟の経験と新たな発展をめざして」 特別報告「アスベスト被害と環境汚染について」 交流 今後の運動を支える「千葉あおぞら連絡会の構想案」